

BIANS自然科学者になろう！

**昆虫の数や種類は、
月ごとにどう変化するのか**

4年

調べた理由

季節によって見かける昆虫にちがいがあると思ったから。

予想

暑い月（6月）に変化が大きくなると思う。

調べた方法

1. 期間

2021年5月20日(木)
～11月5日(金)まで
(5回)

2. 場所

- ・芝生広場
- ・休憩棟から1番の間



調べた方法 2

3. 手順

- ①野鳥公園内で昆虫を探し、観察したり捕まえたりする。
- ②日時、昆虫の特徴、などを記録する。
(写真を撮る。)
- ③図鑑で種類を調べ、記録する。

調べた結果 1

月ごとの観察した種類の数

チョウ	トンボ	コウチュウ	バッタ	カメムシ
-----	-----	-------	-----	------

5		オバポタル	エンマコオロギ		メスアカフキバッタ
4		ジョウカイボン	クサキリ	アワフキムシ	ショウジョウトンボ
3	ヨツボシtentウダマシ	ショウジョウトンボ	ヒガシキリギリス	ベッコウヒラタシデムシ	ノシメトンボ
2	ニホンベニコメツキ	キタキチョウ	マユタテアカネ	クサキリ	コノシメトンボ
1	ヒガシキリギリス	アカボシゴマダラ	ミヤマアカネ	エンマコオロギ	ナツアカネ
	5月20日	6月25日	9月13日	10月15日	11月5日

調べた結果 1 から分かったこと

- ・ 昆虫は、夏だけ種類が増えるのではなく、秋（11月）も増える事が分かった。
- ・ 思ったより秋が多かった。
- ・ 平均すると毎月約4種類の昆虫が確認できた。
- ・ 10月は、バッタ類が多かった。
- ・ 芝生広場と休憩棟から1番の間では、見られる昆虫に大きな差は、無かった。

調べた結果 2

観察した昆虫の仲間ごとの名前と数ランキング

第 5 位

カメムシ
アワフキムシ

第 4 位

チョウ
アカボシゴマダラ
キタキチョウ

第 2 位

バッタ
ヒガシキリギリス
キリギリス
エンマコオロギ
クサキリ
メスアカフキバッタ

第 1 位

トンボ
ミヤマアカネ
マユタテアカネ
ナツアカネ
コノシメトンボ
ノシメトンボ
ショウジョウトンボ

コウチュウ
ニホンベニコメツキ
ヨツボシテントウダマシ
ジョウカイボン
オバボタル
ベッコウヒラタシデムシ

調べた結果 2 から分かったこと

- ・特に「コウチュウ」や「トンボ」の種類が多く見られた。
- ・9月に見たエンマコオロギは、オスメス半分ずつだった。しかし10月につかまえたエンマコオロギは、オスが少なかった。理由は、メスをめぐり、あらそって死んでしまったからだと思う。
- ・メスは秋に卵を産むため、10月にもたくさん見られたのだと思う。
- ・外来種のチョウ、アカボシゴマダラを捕まえた。このあたりにも分布が広がっていると分かった。

考察

- ・ 6月が特に多くなるという予想だった。なぜなら、僕は、暑い月だけ種類と数が増えると思っていたから。しかし実際には、10月、11月にも昆虫が多くみられた。
- ・ 秋は涼しく、食べ物が豊富だから、多く見られたと思う。
- ・ 6月のバッタは緑が多く、9月のバッタは茶色が多かったことから、周りの草に合わせて色（保護色）を変化していると思う。

反省・感想

- ・ 夏休みにもフィールドワークを個人で行えば、7月8月のデータがそろい、もっとテーマにせまれたと思う。
- ・ 昆虫は、何のために活動しているのか、気になった。
- ・ これからは、昆虫の活動の目的に注目していきたい。

参考文献

日本の昆虫 1 4 0 0

①、②

文一総合出版